

グリーティング

目に悪いし睡眠不足になるので、大きな声では言えないのですが、私は、毎晩ふとんの中でYouTubeで音楽を楽しんでいます。若い頃にはフォークソングを歌ったり、生演奏を聴きにジャズ喫茶に行ったり、狭い部屋にオーディオセットを置いて好きな曲のレコード、近年はCDを買い集めて楽しみました。そんな私が、YouTubeから音楽を聴くようになったのは、ショパン国際ピアノコンクールがきっかけでした。オンラインでネット配信されるコンクールの様子は、まるでショーを見ている様でした。出場者の緊張した面持ち、鍵盤上のみごとな手指の動き、曲だけでなく自分が会場にいる様な気持ちで楽しめました。特に日本人出場者の演奏は、じっと息をひそめて聴き入り(見入り) 2人の入賞が発表された時は、枕に顔をうずめて「よかった、よかった」と涙ぐんでいました。この時からふとんの中の楽しみが生まれたのです。これからの音楽界をリードする若い人達の、個性的な活躍に驚いたり感動したりしながら、この楽しみを続けるつもりでいます。この指定席は無料、これ以上の特等席はありません。

S. K



鬼気迫る演奏中の
反田恭平さん(2位) 小林愛実さん(4位)

技工情報

◎最終の艶出し研磨について

最終の補綴物の艶出し方法は、

- 1) 研磨材を使用して艶出し研磨を行う方法
- 2) グレーズ陶材を使用してグレーズ焼成を行う方法

以上の2種類の方法がありますが、ジルコニアクラウンの場合には、研磨材を使用した艶出し研磨を行った方が理想的になります。

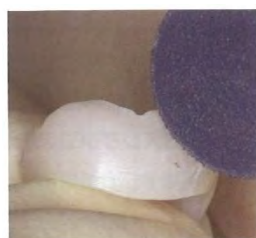
これは、グレージングの場合は、表面にガラスの薄いコーティング膜を形成するという事で艶を出します。この薄い膜は、咬合前は滑沢な表面性状をしていますが、咬合により摩滅し易く、結果として凹凸を生じてしまいます。

これに対して、鏡面研磨は、対合の摩耗を減らす最も適した方法になります。

鏡面研磨を行えば歯科用セラミックス中で最も小さな表面粗さを持っている為です。

これは、ジルコニアが均一な微細構造を有している為であり、滑沢に仕上げられるという事は、対合歯の摩耗を減らせるという意味になります。

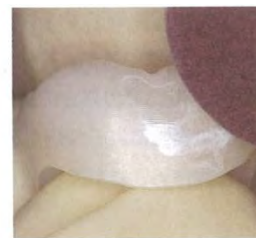
○研磨手順○



1) マージンの荒研磨



2) 咬合面の荒研磨



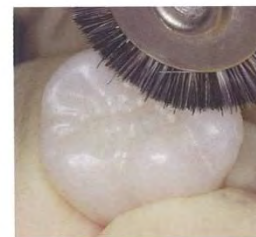
3) マージンの中研磨



4) 咬合面の中研磨



5) 主溝の中研磨



6) 全体の艶出し研磨